



三ヶ尻隆雄議員

畜産振興

肥育頭数の推移は

8月末現在786頭まで回復

質問 堆肥センターは当初からエコファーム山田を指定管理者として指定しているが、その運営状況は。また、今後の肥育頭数の推移と肥育形態は。

沼崎町長 運営状況は、16年、17年は損失計上しているが、18年には利益を計上、19年には飼育頭数の減に伴い、損失を計上した。20年には、原料搬入不足にもかかわらず、製品の高付加価値化と大幅なコスト削減により利益を計上した。21年へ繰り越す未処理損失金は273万円となっている。肥育頭数の推移については、毎年2月1日に調査し

ており、16年は肥育農家数13戸1696頭であったものが、21年には8戸334頭まで落ち込んだ。しかしながら、本年3月から国内最大の肉用牛生産会社の黒毛和牛預託事業を導入し、全農系統のF1（交雑種）事業も開始され、8月末現在786頭まで回復し、来月にも150頭前後が新たに導入される予定である。肥育形態については、預託元から子牛が導入され、出荷までの間肥育することになる。料金については、契約に定められた内容で農家に支払われる預託方式をとっている。

旧山田病院

譲渡交渉の経過と内容

不動産鑑定評価を持ち寄り協議中

質問 07年秋ごろ、旧山田病院跡地の譲渡交渉については、県医療局との協議が最終段階に入っているとの説明があった。その後、医師確保問題などで協議が立ち消えになっている感がある

るが、現在の交渉経過と内容はどのようになっているか。また、譲渡後の利活用について検討したか。

沼崎町長 県医療局とは「土地は有償譲渡、建物は無償譲渡とし、建物の再利用および解体は町の負担で行う」ことで合意し、土地の譲渡価格については、双方が不動産鑑定評価を持ち寄り協議を進めているところである。現在の状況は、土地の譲渡価格と建物解体費、設備品の撤去費、合同公舎の取り扱いなどについて、さらに協議を進めているところである。取得後の利活用については協議が整いしだい検討していきたい。

議員8人が一般質問



旧山田病院跡地の早期利活用が期待されます